

#### 4. 総括研究報告書

##### 課題 1

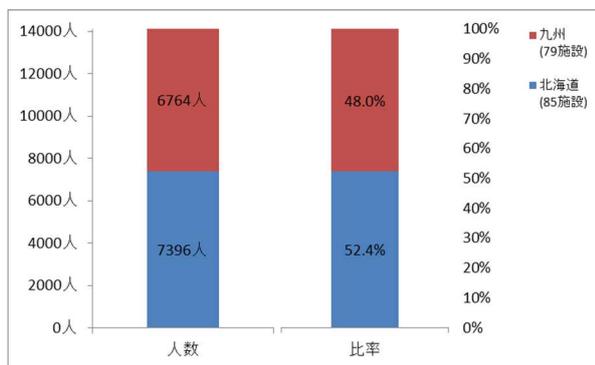
##### 課題 1

医療従事者のための足病治療・ケア 小冊子（補考）により

足病知識の普及・浸透の評価研究と併せて

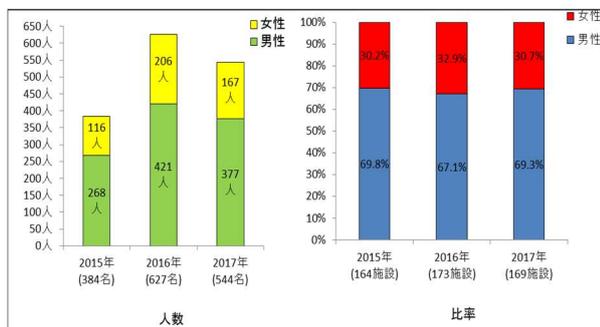
下肢末梢動脈疾患指導管理加算の2年目の普及度（合併：北海道と九州）調査

透析患者数とその比率を示す。



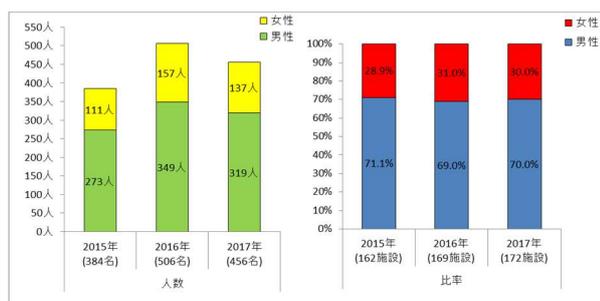
透析患者数

2015年厚労省指定研究 大浦研究班（以下、大浦研究班）が誕生し、下肢末梢動脈疾患指導管理加算が付いたことと、足病の重要性が強調された影響で、2016年に急速に伸び、2017年に少し減少している。



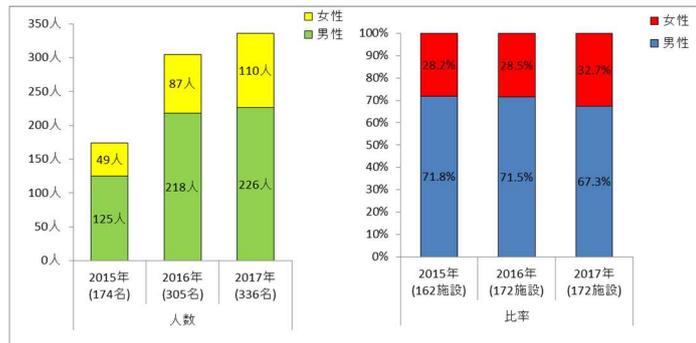
血行再建病院あるいは足病専門病院に紹介した人数(合併)

大浦研究班が誕生し、下肢末梢動脈疾患指導管理加算が付いたことと、足病の重要性が強調された影響で、2016年 2017年に急速に伸びている。



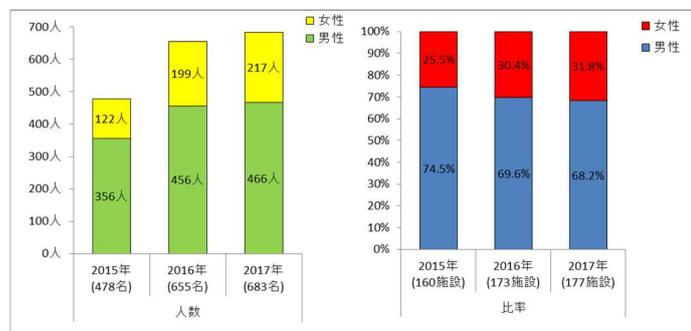
血行再建手術を受けた人数(合併)

大浦研究班が潰瘍の治療をの重要性を強調し、歩く・立つを“final goale”とすると働きかけたことが、潰瘍の治療が増加した原因である。形成外科医が頑張っている影響が大きい。



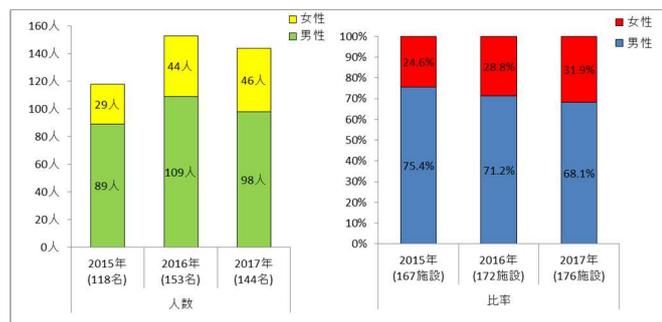
足潰瘍治療を受けた人数(合併)

血管内治療・バイパス手術・創傷治療を受けた人数が 2016年に増加したのは、2015年大浦研究班が活動したことが大きい



血管内治療・バイパス手術・創傷治療を受けた人数(合併)

大浦研究班が出来、下肢温存の重要性が強調されたが、この効果が現れるのは、4～5年先と思われる。



下肢切断をされた人数(合併)